

委員会視察レポート

(総務厚生委員会)

去る2月7日、大分県玖珠郡九重町へ地域活性化施策「九重夢吊橋」の取り組みについて視察研修を行った。担当者から建設の経緯や、建設後の効果に関するメリットやデメリットについて説明を受けた。



スライドを交え説明を受ける

当初年間30万人の入場者を見込んでいたが、開業からわずか29日でクリア。1年間に訪れた観光客は、約240万人。予想以上の収入で、今後も繰り上げ償還を行っていくとのこと。財源や効果などについて、活発な意見が交わされた。

(文教委員会)



中林梧竹記念館にて

平成20年1月24、25日にかけて、「佐賀県立名護屋城博物館」と「中林梧竹記念館」を視察した。

名護屋城博物館では、展示物から日本・韓国の教育方針の違いを知り、一刻も早い両国の相互理解の必要性を感じた。

中林梧竹は、明治の三筆の一人と謳われ、書には独特の風格があり、新書風で書壇への影響の大きい書家で、筆の里工房でも平成17年4月から1ヶ月間、企画展が開催された。

各地の書に関する取り組みを視察することで、筆の都熊野の書写、美術教育の振興と充実には、重要な研修であったと感じた。

(産業建設委員会)

平成20年2月4日、衰退していた商店街を「昭和」をキーワードに見事に蘇えらせた大分県豊後高田市を視察した。

まずは、「商店街の活性化とまちづくり」に関する事業の取り組み経緯や事業の展開方法について説明を受け、町並み案内人へ同行し、実際の現地を視察した。

事業としては、商工会・事業者・行政が一体となつて取り組んでおり、現在では予想を大きく上回る年間20万人の人が訪れているとのこと。

委員会としても、引き続き、今後の町づくりに向けた調査を行っていく。



教室スタイルで視察

町制90周年記念自治功労表彰

(議員在職20年以上)



尺田議長



佛圓議員



馬上議員



中原議員



中村毅前議員



中村勝義前議員

※ 馬上議員、中原議員は、2月13日の自治功労者等表彰式にて、議員在職20年以上として、広島県町村議会議長会表彰も受賞されております。

広報コンクールで

「佳作」を受賞



広報紙部門 (第62号)



写真部門 (第61号)